

オレアちゃん賞 入賞作品

## 「オレアちゃんありがとう」

中野 光

小4 神奈川県横浜市

オレアちゃん、こんにちは。私は日本に住む夏休みに10才になった女の子です。ニュースで時々戦争の様子を見たりしてもその国でどんな事が起きているのかわかりませんでした。また、外国の15才で赤ちゃんを道路で育てているテレビを見て泣く事しかできませんでした。でもね、オレアちゃん私にも何かできるかなあ。

私も誰かの役に立ちたいです。母の友人は、ベトナムの難民です。ときどきいつも同じ話をします。一つは、校庭で遊んでいた日の話です。三人で遊んでいると敵の飛行機が飛んできました。目の前にどかんが二つありました。ロアンさんは意地悪をされてどかんに入れてもらえませんでした。ばくだんが落ちました。どかんに入った二人は死にました。なんと、ロアンさんは助かりました。命にかかわる事件が起きると今まで仲よく遊んでいた友達さえ、自分だけは生きたいと必死になってしまった事が悲しかった事と、目の前で友達が死んだ事が悲しすぎていまだに心の整理ができないと話します。二番目は、かれ葉剤の事です。今でもベトナムの人は、苦しんでいます。恋をしてもかれ葉剤のえいきょうを受けていないか検査に合格した若いお兄さんとお姉さんしか結婚できない事。たとえ好きな人がいても健康な赤ちゃんが産める人しかおよめに行けない事を話します。まだ日本語が上手じゃないけれど戦争でつらかった話をします。自分の大好きな国なのにもうくらす事ができない事。いつも戦い続けて逃げていた日の事。悲しみは、少しずつうすらいで行くけれど忘れる事が出来ないつらい思い出の話をしてします。なんでいつも同じ話をするのか、オレアちゃんの話聞くまでわからなかったなあ。ロアンもつらかったんだね。やっとロアンの気持ちも分かったよ。オレアちゃんありがとう。つらかった思いでは消すことはできないけれど、私には、あたたかい両手があるよ。手をにぎって話を聞いてあげる事ができるよ。他に私にもできる事オレアちゃん、ロアンさん、おじいさん、おばあさんが喜んでくれることを考えたよ。

### ①心をこめて、あいさつをする。

たとえ相手の人が外国人だろうと、障害がある人でも、あなたの事をとても大切に思っていますよという想いをこめてあいさつをします。

### ②食べ物を大切に作る。

太陽の光をたくさんあびて、元気に育った作物さんありがとう。作物を育ててくれた人ありがとう。料理を作ってくれた人ありがとう。感謝して残さず食べます。

### ③いつもにこにこしてること。

笑うかどには、福きたる。つらい人も怒りんぼうの人にも元気なパワーをあげたいです。だから、私はどんなときにもにこにこしてみんなにしあわせをとどけたいです。